

2023年度版

環境経営レポート

(2023年7月1日～2024年6月30日)

発行日 2024年12月9日
改定日 2024年12月24日

清水工業株式会社

代表取締役社長 山田 智子

目次

1. 組織の概要	1
1. 事業者名・代表者氏名	1
2. 所在地	1
3. 環境管理責任者・連絡先	1
4. 事業の内容	1
5. 設立	1
6. 資本金	1
7. 工場敷地	1
8. 工場建坪	1
9. 事業の規模・売上高・従業員数	1
10. 対象範囲(認証登録範囲)	1
11. 活動レポート対象期間・発行日	1
2. 環境経営方針	2
3. EA実施体制	3
4. 環境経営目標	4
5. 環境経営計画	4
6. 環境経営目標の実績	5
7. 達成状況、実施状況の評価および次年度の取組み内容	6
8. 環境関連法規制等一覧、遵守確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無	7
9. 代表者による全体の取組状況の評価及び見直しの結果	8

1. 組織の概要

1. 事業者名	清水工業株式会社
代表者氏名	代表取締役 山田 智子
2. 所在地	〒473-0914 愛知県豊田市若林東町木ノ前4番地2
3. 環境管理責任者	執行役員 遊佐 真彦
連絡先	TEL 0565-52-2800 FAX 0565-53-0689 E-mail masahiko-yusa@shimizu-kk.net
4. 事業の内容	自動車部品の製造加工業務(自動車用量産部品及び試作マフラー製造)
5. 設立	1960年11月
6. 資本金	1000万円
7. 工場敷地	10560m ²
8. 工場建坪	1825m ²
9. 事業の規模	
売上高	1375百万円 (2023年度)
従業員数	48名
10. 対象範囲(認証登録範囲)	対象組織: 本社・工場 対象活動: 自動車部品の製造加工業務 (自動車用量産部品及び試作マフラー製造)
11. 環境経営レポート	
対象期間	2023年7月1日～2024年6月30日
発行日	2024年12月9日
改定日	令和6年12月24日

2. 環境経営方針

環境理念

清水工業株式会社は、その事業活動において、地域環境に配慮しその環境をより良いものになるように貢献するとともに、企業としての社会的責任を果たすべく環境保全活動を自主的積極的に推進します。

行動方針

- (1) 当社に適用される環境関連法規、または条例を遵守します
- (2) 当社が同意したその他要求事項を遵守します
- (3) 社員への環境方針の周知徹底します
- (4) 環境経営システムの継続的改善を推進します
- (5) 環境活動として、具体的に以下の項目に取り組めます

- ① 電気使用量及び化石燃料の削減による二酸化炭素排出量の低減
- ② 廃棄物排出量の削減
- ③ 節水
- ④ 化学物質使用量の削減
- ⑤ 不良流出不具合件数の低減、及び工程内不良の低減

作成2012年12月8日

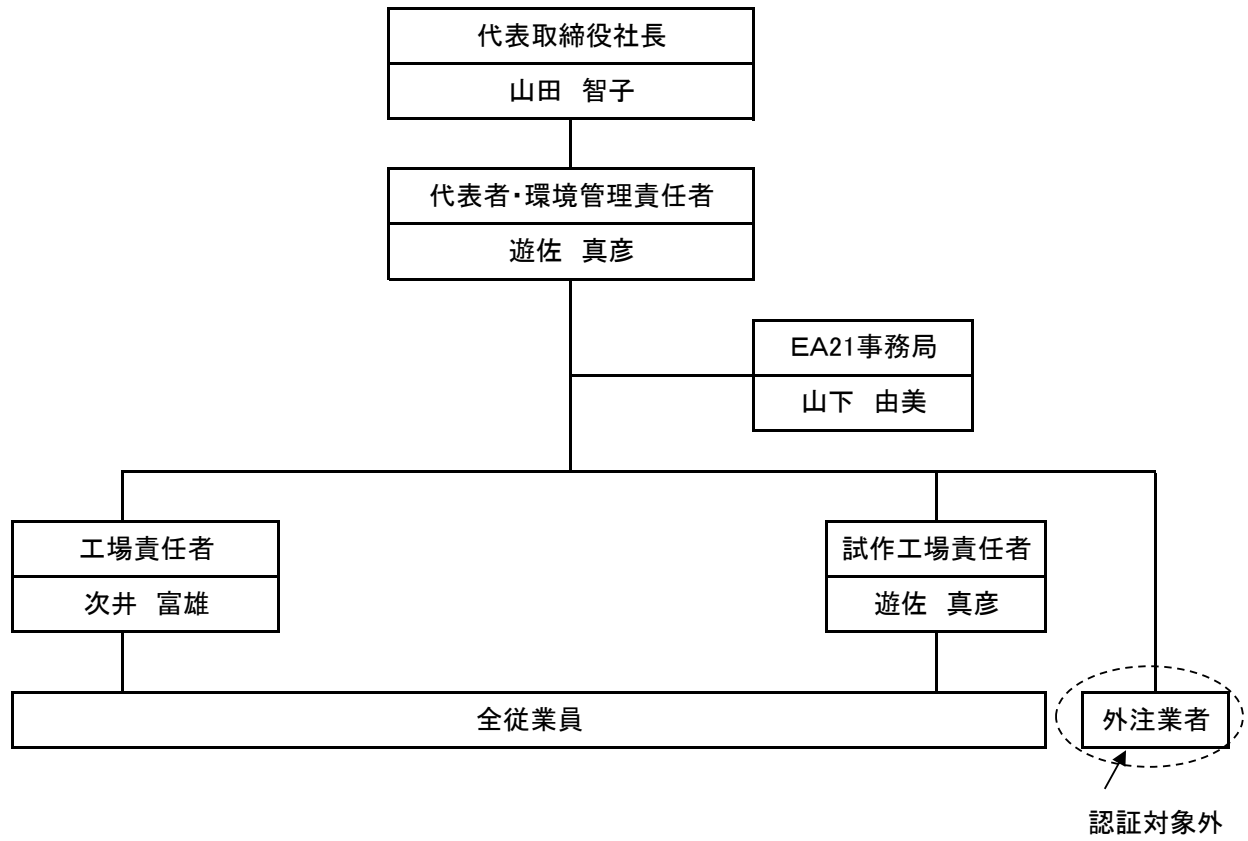
改定2021年7月1日

清水工業株式会社
代表取締役社長

山田 智子

3. 清水工業(株)EA21実施体制

作成責任者	遊佐 真彦
作成日	2012年12月8日
改定日	2022年12月3日



役割・責任・権限

役割	責任・権限
代表取締役社長	環境経営方針、環境経営レポートの承認
代表者 (執行役員)	取り組み対象組織の決定、環境経営方針の策定、環境管理責任者の任命 資源(人員・設備・費用等)の準備、代表者による全体の評価と見直し 環境経営レポートの発行
環境管理 責任者	代表者に代わり環境経営システムの構築・運用・維持及びその状況報告 環境活動レポートの作成 記録(保管期限3年を過ぎたもの)の確認及び廃棄 環境経営目標・環境経営活動計画の作成、活動の進捗管理および記録
EA21事務局	外部コミュニケーション 緊急事態の想定・訓練の実施・問題点の是正・予防処置と記録
責任者	自部門の取り組みに関し、環境管理責任者に準じた責任を持つ
全従業員	環境経営方針・環境経営目標・環境経営活動計画を理解し取り組む

4. ◎環境経営目標

基準期間 2023年度(2019年7月～2020年6月)

2024年7月30日 改定

環境方針	分類NO.	名称	単位	2014年度	2019年度実績値 (新基準値)	2022年度 実績値	2023年度目標		2024年度目標 (新基準値比)	2025年度目標 (新基準値比)
				実績参考値			2014年比 (前年提示目標)	2019年比 (新基準値比目標)		
①二酸化炭素削減	1	電力	kWh	527,392	385,722	412,095	2014年比で5%削減	2019年比で12%削減 (3%×4年＝12%)	2019年比で16.6%削減	2019年比で21.2%削減
	2	液化石油ガス(LPG)	kg	2,340	1,985	1,762	2014年比で3%削減	2019年比で12%削減 (3%×4年＝12%)	2019年比で16.6%削減	2019年比で21.2%削減
	3	ガソリン	L	21,313	13,935	8,920	2014年比で5%削減	2019年比で12%削減 (3%×4年＝12%)	2019年比で16.6%削減	2019年比で21.2%削減
	4	灯油	L	8,791	9,645	3,739	2014年比で4%削減	2019年比で12%削減 (3%×4年＝12%)	2019年比で16.6%削減	2019年比で21.2%削減
			kg-CO2	320,945	278,305	185,110	2014年比で5%削減	2019年比で12%削減 (3%×4年＝12%)	2019年比で16.6%削減	2019年比で21.2%削減
②廃棄物削減	5	一般廃棄物	kg	8,600	8,290	4,540	2014年比で4%削減	2019年比で12%削減 (3%×4年＝12%)	2019年比で16.6%削減	2019年比で21.2%削減
	6	産業廃棄物	kg	26,500	24,050	7,550	2014年比で4%削減	2019年比で12%削減 (3%×4年＝12%)	2019年比で16.6%削減	2019年比で21.2%削減
③使用水量削減	7	上水道	m ³	1,962	2,500	1,880	2014年比で4%削減	2019年比で12%削減 (3%×4年＝12%)	前年比 維持	前年比 維持
④化学物質の使用量削減	8	シンナー	L	240	126	126	2014年比で4%削減	2019年比で50%削減	前年比 維持	前年比 維持
⑤不良品廃却数の低減	10	流出不具合件数	件	-	目標10件以下	目標10件以下	目標10件以下	目標10件以下	目標9件以下	目標9件以下

* 2024年度目標設定については、主要顧客目標値と同一

5. ◎環境経営計画

(期間:2015年7月1日 ～ 2024年6月30日)

分類NO.	環境目標	具体的な取組み内容	確認方法	責任者	取組み期間 及び計画	予測年間 低減率
①	電力の使用量削減	・作業場での冷暖房使用時は設定温度を固定化	空調設備管理表	環境責任者	継続実施項目	-
		・作業場の照明を間引き消費電力抑制	現地 掲示物	環境責任者	継続実施項目	-
		・コンプレッサー昼休憩停止による消費電力抑制	現地 掲示物	環境責任者	継続実施項目	-
		・事務所、工場、倉庫の昼休憩消灯による消費電力抑制	現地 掲示物	環境責任者	継続実施項目	-
		・第1プレス工場 屋根上 太陽光パネル設置 50KW	-	代表者	2013年7月導入済	2033年 自社消費に変更予定(9年後) 蓄電池を装備し、約50,000/年 Kwh低減 * 2023年度使用量の約12.5%相当
		・新設 保全・出荷受入検査工場 照明LED 化	-	代表者	2016年1月導入済	
		・省エネ設備 パイプヘンダー機・300サーボプレス機導入	-	代表者	2016年1月導入済	-
		・製造課 ロボット工場 照明 水銀灯⇒LED化	-	代表者	2016年4月導入済	-
		・プレス 第1工場 照明 LED化 蛍光灯:6台 水銀灯:30灯	現地	代表者	2017年10月導入済	蛍光灯に対し53.7%、水銀灯に対し76.5% 低減
		・プレス 第2工場 照明 LED化 蛍光灯:3台 水銀灯:12灯	現地	代表者	2017年10月導入済	蛍光灯に対し53.7%、水銀灯に対し76.5% 低減
		・定置スポット溶接工場 照明 LED化 蛍光灯:8台	現地	代表者	2017年10月導入済	蛍光灯に対し53.7% 低減
		・試作工場 照明 LED化 蛍光灯:6台 水銀灯:14灯	現地	代表者	2017年11月導入済	蛍光灯に対し53.7%、水銀灯に対し76.5% 低減
		・ロボット組付工場 作業環境 溶接ヒューム削減(排気装置設置)	現地	代表者	2020年8月導入済	-
		・試作工場 作業環境 溶接ヒューム削減(排気装置設置)	現地	代表者	2020年10月導入済	-
		・ロボット組付工場 LED照明追加 蛍光灯:6台 (照度確保)	現地	代表者	2021年2月導入済	-
		・あったかベスト無償貸与支給(携帯バッテリー式)	現地	代表者	2022年11月導入済	灯油使用量半減以下
		(2023年度)・プレス工場 エアモレ改善	現地	工場責任者	2023年7月～	-
		(2023年度)・試作工場 エアコン 2台停止	現地	工場責任者	2023年7月～	-
		(2023年度)・順送プレス機2台 作業照明 LED化	現地	代表者	2023年10月設置予定	-
		(2023年度)・コンプレッサー圧力見直し (0.7Mpa⇒0.6Mpaへ低減)	現地	環境責任者	2024年3月～	-
	ガソリン・灯油 使用量削減	・量産部品 生産工場の集約化(スポット工場→試作部門工場へ集約)	現地	環境責任者	2024年8月	夏期:スポットクーラー削減 冬季:暖房削減
		(2024年度予定)・社内の全蛍光灯照明⇒LED照明化 (器具94台:照明170本)	現地	環境責任者	2024年10月～2025年1月	蛍光灯に対し53.7% 低減
		(2028年度予定)・太陽光発電 30kwh 増設予定(自社消費) トラックヤード屋根・倉庫屋根	現地	代表者	2028年度設置で検討中	自社消費予定 蓄電池を装備し、約30,000/年 Kwh低減 * 2023年度使用量の約3.0%
		・エコ運転(急発進、急停止、アイドリングストップ等)の推進	社有車・フォークリフト	環境責任者	継続実施項目	-
	(2024年度予定)	・第1プレス工場 フォークリフト更新 ガソリン車⇒電動車へ変更	フォークリフト	代表者	2015年10月導入済	-
		・社有車1台削減予定 (5台⇒4台へ低減)	社有車・フォークリフト	代表者	2024年 10月 予定	ガソリン使用量 約120L/年 削減
		・プレス工場 3ヶ所ガソリンフォークリフト → 電動車へ変更	フォークリフト	代表者	2025年 6月 予定	ガソリン使用量(500L/月) 約6000L/年 削減
		・使用量削減の推進(設定温度・運転時間)	現地 掲示物	工場責任者	継続実施項目	-
②	一般廃棄物の削減	・使用済み用紙の裏紙再利用の推進	現地	環境責任者	継続実施項目	-
		・使用済み封筒の再利用	現地	環境責任者	継続実施項目	-
	産業廃棄物の削減	・掲示物等による削減の推進	現地 現地掲示物	環境責任者	継続実施項目	-
③	使用水量削減	・掲示物等による節水活動の推進	水道設置場所	環境責任者	継続実施項目	-
④	化学物質の使用量削減	・掲示物等による使用量削減の推進	保管庫	環境責任者	継続実施項目	-
⑤	流出不具合件数	・顧客への流出不具合件数の減少を図る	納入不良管理帳	品質管理課長	継続活動項目	-

環境方針	分類NO.	名称	単位	基準年(参考値) 2014年	基準年 2019年	2023年度 目標	
				年間	年間	低減比率	目標値
①二酸化炭素削減	1	電力	kWh	527,392	385,722	2019年比で12%削減 (3%×4年＝12%)	339,435
	2	液化石油ガス(LPG)	kg	2,340	1,985	2019年比で12%削減 (3%×4年＝12%)	1,747
	3	ガソリン	L	21,313	13,935	2019年比で12%削減 (3%×4年＝12%)	12,263
	4	灯油	L	8,791	9,645	2019年比で12%削減 (3%×4年＝12%)	8,488
	5	二酸化炭素	kg-CO2(総量)	320,945	278,305	2019年比で12%削減 (3%×4年＝12%)	244,908
②廃棄物削減	6	一般廃棄物	kg	8,600	8,290	2019年比で12%削減 (3%×4年＝12%)	7,295
	7	産業廃棄物 (木くず・廃プラ)	kg	26,500	24,050	2019年比で12%削減 (3%×4年＝12%)	21,164
③使用水量削減	8	上水道	m ³	1,962	2,500	2019年比で12%削減 (3%×4年＝12%)	2,200
④化学物質の使用量削減	9	シンナー	L	240	126	2019年比で12%削減 (3%×4年＝12%)	111
⑤流出不具合件数低減	11	流出不具合	件	－	目標10件以下	目標10件以下	目標10件以下

＊新たな基準年度はコロナ感染症年度のため、設備非稼働が多かった年度

実績・評価

環境方針	分類NO.	名称	単位	基準年(参考値) 2014年 に対する削減率	目標に対する実績値 2023年度	削減率 (E)	評価	今後の対応 及び評価「×」要因
①二酸化炭素削減	1	電力	kWh	－26%	389,103	14.6%	×	今後、更なる使用量の低減内容を予定中
	2	液化石油ガス(LPG)	kg	－53%	1,091	－37.5%	○	今後、更なる使用量の低減内容の検討を実施
	3	ガソリン	L	－58%	8,920	－27.3%	○	今後、更なる使用量の低減内容を予定中
	4	灯油	L	－65%	3,042	－64.2%	○	今後、更なる使用量の低減内容の検討を実施
	5	二酸化炭素	kg-CO2(総量)	－45%	176,438	－28.0%	○	今後、太陽光発電増設 自社消費を予定中
②廃棄物削減	6	一般廃棄物	kg	－59%	3,550	－51.3%	○	顧客とも相談し、梱包材、 新聞紙等の廃棄物を低減
	7	産業廃棄物 (木くず・廃プラ)	kg	－100%	0	－100.0%	○	木くず:材料納入時の木枠を 材料商社へ返却する事により大幅低減
③使用水量削減	8	上水道	m ³	－14%	1,685	－23.4%	○	今後も削減意識向上に 努めます
④化学物質の使用量削減	9	シンナー	L	－85%	36	－67.5%	○	今後も削減意識向上に 努めます
⑤流出不具合件数低減	11	流出不具合	件	－	10	13	×	改善活動を実施し、 削減に努めます

※液化石油ガスはm³×2.07＝kgにて算出

※電力の排出係数基準年度は中部電力の2009年度の0.455kg-CO2を使用し算出しています。

※2023年度の排出係数は、関西電力の0.362kg-CO2を使用し算出しています。

＊ 上記数値は総量にて記載。

＊ ⑤流出不具合件数の実績は、顧客に合わせ1月～12月までの数量とする。

7. ◎達成状況、実施状況の評価および次年度の取組内容

項目	実施状況の評価	評価	次年度の取組
電力	・作業場での冷暖房使用時は設定温度を固定化（冷房時28℃：暖房時20℃）	○	継続維持
	・コンプレッサー昼休憩停止による消費電力抑制	○	継続維持
	・工場、倉庫の昼休憩消灯による消費電力抑制	○	継続維持
	・プレス工場 順送プレス機2台 作業照明 LED化 2023年10月設置済	○	-
	・試作工場 エアコン 2台停止（5.5kw×2台）	○	-
	・コンプレッサー吐出圧力見直し(0.7Mpa →0.63Mpa)	○	-
	・プレス工場 エアーモレ改善	○	継続監視
	・量産部品 生産工場集約化(スポット工場→試作部門工場へ集約)	2024年度	
	・社内の全蛍光灯照明→LED照明化（器具94台:照明170本）	2024年度	
ガソリン	・エコ運転(急発進、急停止、アイドリングストップ等)の推進	○	継続維持
	・社有車1台削減予定（5台→4台へ低減）	2024年度	
	・プレス工場 3トガソリンフォークリフト → 電動車へ変更	2024年度	
灯油	・使用量削減の推進(設定温度・運転時間) ・あったかベスト無償貸与支給による大幅低減活動	○	継続維持
二酸化炭素削減	・電力・LPG・ガソリン・灯油削減の推進	○	継続維持
一般廃棄物	・使用済み用紙の裏紙再利用の推進	○	継続維持
	・使用済み封筒の再利用	○	
産業廃棄物	・掲示物等による削減の推進	○	継続維持
上水道	・掲示物等による節水活動の推進	-	継続維持
化学物質の使用量削減	・掲示物等による削減の推進	○	継続維持
流出不具合件数低減	・年間目標10件以内	×	原因解析を行い、対策計画を立案し改善活動進行中です（顧客改善計画書）

8. 環境関連法規制等一覧、遵守確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

作成日2024年12月8日
更新2024年12月8日
作成者 遊佐真彦

分類	法令規制の名称	該当内容	確認方法	遵守状況
環境保全	騒音規制法 特定施設届出	市街化調整区域（朝・夕 6時～8時 19時～22時） 55デシベル （昼間 8時～19時 ） 60デシベル （夜間 22時～翌日の6時） 50デシベル 特定施設届出が実施、及び更新も実施されているか	測定記録 届出書	○
	振動規制法 特定施設届出	市街化調整区域（昼間 7時～20時 ） 65デシベル （夜間 20時～翌日の7時） 60デシベル 特定施設届出が実施、及び更新も実施されているか	測定記録 届出書	○
	公害防止組織法	公害防止統括者・管理者の専任、届出	届出書	○
	消防法 豊田市火災予防条例	・防災管理の専任 ・消火設備の管理	・届出書 ・消防用設備 ・維持管理台帳	○
	アイドリングストップ	豊田市条例 自動車を駐車及び停車させる時のアイドリングストップの励行と周知	社有車 掲示	○
	フロン排出抑制法	7.5KW以下 業務エアコン 5台（簡易点検 3ヶ月に1回以上） （・エアコン 7.5KW～50KW未満 定期点検 3年に1回以上）なし （・冷凍、冷蔵機器 7.5KW以上 定期点検1年に1回以上）なし コンプレッサー（業者点検1回/年）（管理者点検1回/月） ・製造課 2台×37Kw ・試作工場 15kw ・保繕工場 2.2kw	・駐車場に表示 ・全体朝礼時周知 取組み 点検表 取組み 点検表	○ ○
リサイクル	自動車リサイクル法	新車購入又は買い替え時リサイクル料金の支払い	期間内での 対応はなし	○
	家電リサイクル法	特定家庭用機器の購入又は買い替え時リサイクル料金の支払い	期間内での 対応はなし	○
廃棄物	廃棄物処理法	・産業廃棄物の委託契約の締結、許可証の有効期限確認 ・産業廃棄物保管場所に60cm×60cm以上の掲示板を掲示 (掲示事項:1.産業廃棄物の種類 2.管理者氏名 3.連絡先)	許可証 掲示板	○
		・産業廃棄物マニフェストを収集運搬委託の都度にマニフェスト発行および 5年間保管。 * 水銀による環境汚染防止に関する法律施行令 ・マニフェスト～産業廃棄物種類欄に「水銀使用製品産業廃棄物」又は、 「水銀含有ばいじん等」が含まれること、また、その数量を記載すること ・保管場所の掲示板～産業廃棄物の種類欄に「水銀使用製品産業 廃棄物」又は「水銀含有ばいじん等」が含まれることを明記すること ・産業廃棄物処理のマニフェスト伝票返却照合確認 B2、D票:90日以内の返却 E票 :180日以内の返却	保管ファイル 掲示板	○
		産業廃棄物管理票の交付状況等報告	報告書	○
水質	浄化槽法	清掃保守点検と定期点検、維持 浄化槽形式 ・事務所 ～合弁流調単担体接触循環方式 ・工場 ～合弁流調単担体接触循環方式 ・寮 ～合弁流調単担体接触循環方式 ・管理住宅 ～分離ばっ気方式 * 保守点検 : 1/3か月に1回 * 定期清掃 : 1回/年 * 法定点検 : 1回/年	浄化槽 維持管理カード 法定点検結果書	○

違反、訴訟等

当社に適用する環境関連法規制については、上記にとりまとめを行いました。

騒音規制法・振動規制法につきまして、一部規制値の超過がありますが、対策として空パレット・空箱を置き近隣住民への配慮を行なっています。

また近隣住民からの指摘、苦情、訴訟等はありませんでした。

9. 代表者による全体の取組状況の評価及び見直しの結果

書式作成日	2013年5月31日	書式作成責任者	遊佐真彦	保管期限:2年
-------	------------	---------	------	---------

環境管理責任者による見直し内容		作成者	遊佐 真彦
		作成日	2024年12月9日
項目	内容	今後の方針	
環境経営方針	環境経営方針に示された「活動方針」は適切でした。 EA21全体の取組も効果的に運用されていました。	基本的な方針の変更はなし。	
環境経営目標 環境経営活動計画	環境経営目標、環境経営活動計画の達成状況は妥当でした。 二酸化炭素の削減 廃棄物の削減 使用水量の削減 化学物質の使用量削減 流出不具合件数低減	電力使用量については、目標未達となりました。 今後更なる削減に向けた計画・取組みを行い、目標達成する必要あり。	
環境関連法規の遵守状況	確認しましたところ環境関連法規への違反はありませんでした。	変更の必要はなし	
外部からの苦情や要望	2023年6月30日現在で外部からの苦情等はありません。	変更の必要はなし	

代表者による変更の必要性の判断		評価見直し者	遊佐 真彦
		作成日	2024年12月9日
項目	代表者による全体の評価	変更の必要性	有の場合の指示内容
環境経営方針	現在の方針としては適切であり変更の必要はないと認識しています。	☐ 有 ☒ 無	-
環境経営目標	水道使用量に関しては、主に生活用水として使用している為、評価では対象外とします。 但し維持・節水活動は行っています。	☐ 有 ☒ 無	-
環境経営活動計画	新目標の2030年までに、CO2削減 2019年度比 50%削減目標に向け計画立案も実施している状況です。 計画的通りに実施し、目標達成に向け効果確認・監視する必要あり。	☐ 有 ☒ 無	-
実施体制	評価基準年も更新し、従来以上にCO2削減をしていく必要がある。 体制も強化し今まで以上に各分類ごとの使用量監視を実施。	☐ 有 ☒ 無	-
その他変更の必要な項目	特になし	☐ 有 ☒ 無	-